

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		第6アスベ		公表日 平成37年2月1日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	指定基準を満たしたスペースを確保している。	テーブルや机など必要に応じて片付け、安全に活動できるように努めていく。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	2	児童の適性に合わせ、職員が個別に対応し、配置する事を心掛けている。	活動内容や場所を考慮し、安全に活動できるように配置をしていく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	段差がある所などには職員が入り、安全確保に努めている。	今後も段差などには職員が入り、声掛けや支援を行い、安全確保していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	2	日々の清掃、手洗いやアルコール消毒などを実施し、季節に応じ加湿器などを設置している。	日々の清掃や消毒だけでなく、その時の活動に合わせた環境設定を心掛けていく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	児童の様子に応じて個別に対応が必要な場合は、個室をしている。	活動する大療育室だけでなく、個別療育に使用する個室など、適宜その時に合わせて使用していく。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	半年に一回法人全体での業務改善をレポートにて提出し、その時に挙がった課題について、改善や検討を行っている。	今後も継続して実施していく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	年一回アンケートを実施し、その内容に基づいて業務改善に努めている。	今後も継続して実施していく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	日々のミーティングの場で職員間で意見などを出し合い、改善に努めている。	今後も職員間で意見を出し合い、業務改善や情報共有していく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	0	現在は実施していない。	必要に応じ、外部評価などを検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	2	感染症対策や虐待防止などの研修を行い、資質向上に努めている。	今後も継続して実施していく。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	児童の特性を考慮してプログラムの作成を行い、伝えていく事を心掛けている。	5領域や児童の特性を考え、プログラムの作成や公表に努めていく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	支援期間毎に保護者と面談を行い、その時のニーズや内容を職員間で話し合い、計画書を作成している。	今後も課題やニーズなどを分析し、計画書を作成していく。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	職員間で情報を共有し、個々の特性に合わせた支援を検討している。	今後も職員間で支援方法について共通理解し、計画書を作成していく。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	保護者と面談した内容を計画書に反映し、職員間で共有している。また計画書に合わせた支援を心掛けている。	個々の計画書の内容に合わせて、支援の方向性を統一し、実施していく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1	保護者から頂いた発達検査の結果や、日々の活動の様子を記録し、いつでも確認できるようにファイリングしている。	児童の変化や保護者からの情報を職員間で話し合い、記録に残して確認できるようにしていく。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	保護者との面談で前回の支援計画書を振り返った後に、次回の支援内容を立案し、ケース会議を設けて、児童や保護者のニーズに合わせた計画書作成に努めている。	児童一人一人のニーズや特性に合わせて、支援の方向性を統一し、支援内容を設定していく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	日々のリーダーを決めて、活動するプログラムを作成し実施している。また、ミーティングの中で、意見したり立案できる環境を整え、支援に活かしている。	今後も意見を出したり、立案できる環境を設定し、より良い支援に努めていく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	その時に来所される児童の特性に合わせて、プログラムが固定化しないように企画し、実施している。	プログラムが固定化しないように、活動内容を工夫し取り組んでいく。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	児童一人一人に合わせたニーズを面談時に確認し、活動内容に取り入れている。	今後も計画書に合わせた活動を行い、支援していく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	日々行うミーティングで支援内容や役割分担を確認し、連携を図っている。	今後も継続して実施していく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	日々のミーティングや、情報が共有できるノート等を活用し、振り返りを行っている。	今後も職員間で情報を共有し、支援に活かしていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	その日の支援内容を一人一人のサービス提供記録へ記載し、必要に応じて職員間で共有できるノートへも記載している。	今後も継続して実施していく。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	日々の支援内容を振り返り、保護者や職員と現状を確認して、定期的に支援内容を見直している。	今後も継続して実施していく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	0	その時の状況に応じ、基本活動を組み合わせ支援に努めている。	今後も継続して実施していく。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	絵カードやジェスチャーなど、様々な方法を用いて、児童が選択できるような工夫をしている。	児童が自己決定できる力を身に付けられるよう、今後も支援していく。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	児童発達支援管理責任者や、その児童に精通した職員が、サービス担当者会議に参加しています。	今後も継続して実施していきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	必要に応じて各関係機関と連携が図れるように努めている。	今後も継続して体制が整えられるように努めていく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	1	保護者からの情報や必要に応じて学校へ連絡し、情報共有に努めている。	今後も継続して実施していく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	0	児童発達支援から放課後等デイサービスへ移行される際、以前の支援内容について情報共有し、スムーズに移行できるように努めています。	今後も継続して実施していく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	0	学校卒業後の進路先に対して、必要があればこれまでの支援状況など情報提供を行っています。	今後も継続して実施していく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	1	現在は実施していません。	必要に応じて検討していく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	5	現在は実施していません。	施設外活動などで地域のお子様と関われるよう検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	4	法人全体で代表者が参加している。	今後も継続して実施していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	帰りの送迎時に保護者へ伝え、また日々の連絡ノートに記載し、共通理解できるように努めている。	今後も情報共有し、課題や状況について共通理解していく。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2	保護者の方からのご相談がございましたら専門職によるアドバイスなどを行い、話し合いの場をも受けている。	保護者の悩みや思いに寄り添い、相談しやすい関係作りにも努め、必要に応じて専門職に繋げていく。
保護者へ	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	保護者との面談や契約、見学の時に説明を行っています。	今後もわかりやすい説明を心掛けていく。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	定期的に行われる面談の時や、お会いした時に、その時のニーズや課題を聞き、説明を行っている。	今後もわかりやすい説明を心掛け、お伝えしていきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	保護者の方との面談や職員間での話し合いをした内容を計画書に反映させ、説明を行い、同意を得ている。	支援内容について分かりやすい説明を心掛け、同意いただけるように努めていく。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	面談やお会いした時だけでなく、電話やメールなどを活用し、保護者からの相談に応じられるように時間を作り対応している。	保護者の方が安心して相談できるような関係作りにも努め、気持ちに寄り添うよう努めていく。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	7	0	保護者会の開催への準備を行い、保護者同士の交流する機会を設けている。	お便りやメールを活用して開催日時の案内を行い、交流の機会を提供していく。

の 説 明 等	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	苦情があった際には、謝罪をした後、保護者の思いや考えなどを伺った上で、改善策を考え、職員間で話し合い、その結果をお伝えし対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	2		
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0			

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	第6アスペ		
○保護者評価実施期間	令和6年8月1日		～ 令和6年8月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30名	(回答者数) 20名
○従業者評価実施期間	令和6年8月1日		～ 令和6年8月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の配置人数と部屋数	お子様の気持ちの切り替えや活動によって空間を分けている。男性職員が配置されており、男の子のトイレ介助が必要なお子様の対応や歩行困難なお子様の付き添いが可能。	お子様の安全などを考慮した活動内容や対応を行い、その時に応じた職員配置を行っていく。
2	関係機関との繋がり	日頃から密に連絡を取り合い、情報共有をしている。学校と施設の支援方法を統一し、一貫性のある支援を行っている。	今後も関係機関と密に連絡を取り合い、情報共有を行い、一貫性のある支援と良好な関係を維持していく。
3	面談や子育てに関する助言	保護者の気持ちに寄り添い、安心して相談できる関係作りや、対応に努めている。お子様だけでなく保護者へのサポートも行っている。	保護者が今抱えている悩みや困り事に対して、適切な助言ができるように、法人内・外の研修に参加したり、専門職に助言を貰う等、より一層知識を付けて対応していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	障がい特性に応じたバリアフリー化	賃貸物件の為、改造が難しい。	階段は前後に職員が付き添い、安全に移動できるように工夫する。また、倉庫などには鍵を付けて、お子様が誤って入ってしまわないようにする等、安全を確保していく。
2	保護者会などの交流について	平日開催の為、お仕事されている保護者の参加が難しい。	保護者の方が仕事を休んでもでも行きたいと思える内容の企画、運営を行う。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 第6アスベ

公表日 平成37年2月1日

利用児童数 30

回収数

20

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	1	0	0		面談に来られた際に、平面図を確認しながら活動部屋や療育室を実際に見て頂き、十分なスペースを確保している事を伝えていきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	20	0	0	0		今後も面談時などで人員配置の事を伝えていく。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	2	1	1		建物の構造上、バリアフリー化が難しい為、危険と感じる場所（階段等）には必ず職員が付き添います。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20	0	0	0		今後も日々の清掃やアルコールなどでの消毒を行い、環境作りをしていく。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19	0	1	0	入ってきたばかりの職員に、強い口調で言われショックを受けている。	日頃から保護者や子ども、関係機関との情報共有を大切にし、職員との信頼関係構築に努めていきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	20	0	0	0		様々なプログラムを職員間で考え今後も実施していく。
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20	0	0	0		今後も児童のニーズに合わせて作成させて頂きます。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18	0	0	2		支援計画書の書式が変更になった事を分かりやすく説明し、理解して頂けるように対応していきます。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17	1	0	2		面談時の振り返りで支援内容に対する子どもの達成状況や、日々のノートや口頭での伝達をしていきます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17	0	0	3		1ヶ月の活動プログラム予定を参考にし、子どもの状況やバランスを見ながら日々違う活動に取り組んでいきます。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7	3	3	7	お子様のご自宅などに来られ、交流されています。	保護者の話や意見を参考にし、今後の実施を検討していきます。
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19	1	0	0		面談時などで分かりやすく説明していく事を心がけて努めていきます。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20	0	0	0		今後も分かりやすい説明を心がけていきます。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	16	3	0	1		保護者からの相談があれば、専門職によるアドバイスや支援員との面談を行い、話し合いの場を設けていきます。今後も情報が発信できるように努めていきます。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	19	0	1	0	体調の変化があるのに、無理に活動させられたと子どもから聞いている。	支援内容に誤解がないよう、詳しい状況を情報伝達していきます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	0	0	1		安心して相談ができるように関係作りをしていく中で気持ちに寄り添う対応を心がけていきます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19	0	0	1		児童や保護者の気持ちに寄り添い、日々の支援について考え努めていきます。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	16	0	0	4		現在の様子を見ながら、計画的に頻度の方を上げて設定していきます。
	19 こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	0	0	1		相談や申し入れがあった際は、専門職や学習支援に繋げます。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18	1	0	1	職員が変わってからの伝達されていないことがある。	保護者様から情報を得た場合、全職員が目を通す伝達ノートやミーティングで共有させて頂きます。又、お子様一人ひとりに合わせた接し方や伝え方を模索し、保護者様へ定期的にご連絡させて頂きます。

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	18	0	0	2		ブログの掲載日をお知らせし、毎月の通信に保護者や子どもが興味をもって頂けるような内容を記載できるように努めています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20	0	0	0		個人情報の取り扱いに十分に気をつけ、対応していきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20	0	0	0		様々なマニュアルがある事を面談などで伝え、説明していくようにしていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18	0	0	2		定期的に避難訓練があることを事前にお伝えし、その都度どのような取り組みを行ったのか詳しくご説明させていただきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18	0	0	2		安全計画があるということを周知、徹底していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19	0	0	1		マニュアルに基づいて対応していきます。又、その時の状況や対応、処置方法等、詳しく保護者へ説明していきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	19	1	0	0	安心感も多少あると思うが、新しい環境に慣れていないように思う。	日々の関わりを大切に、一人ひとりに寄り添った支援を行っていきます。子どもが安心して過ごせるよう配慮し、職員と良好な関係が築けるように努めています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	19	1	0	0		様々な活動プログラムを実施し、日々子どもたちが楽しく笑顔で過ごせるように工夫していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	19	0	0	1		ご家族様のニーズを引き出し、満足して頂けるようなサービス提供に努めています。